

「旗」から見る相馬野馬追

特集

「旗」から見る相馬野馬追

4 騎馬武者のいでたち

旗の見どころ、知りどころ

5 旗とそのデザインのあれこれ

6 背負う旗の物語

8 グラビア「西内染物店」

10 野馬追のこと、もっと知りたい！

「初陣世話人制度」について

連載

11 侍の日常

馬先生直伝!! 正しい馬の飼い方

12 表紙の馬／編集後記

威厳ある装束をまとう野馬追の騎馬武者たち。その背中にはためく旗には、ひとつとして同じものはありません。総大将の「黒地に日の丸」を筆頭に並ぶ旗印はそれぞれの家のしるしでもあり、想いが込められているもの。古くからの歴史があり、掘ればどこまでも奥深い相馬野馬追ですが、今回は「旗」を切り口に覗いてみましょう。

design of soma nomaoi



『相馬野馬追之図』天保7年(1836)笠原住順個人蔵

総大将の旗 五色の旗

殿様大旗は「大纏おほまと」と呼び、他の旗より一回り大きくつくられています。旗の模様である「旗印」は「黒地に日の丸」。この世の闇を照らす太陽を表しています。

黒地に日の丸と並んで、殿様が大切にしていたのが青赤黄白黒の「五色の旗」。天保の飢饉や明治維新など困難な時代に、内容を省略して行われた「省略野馬追」のときにも、さまざまな旗が省略されたなか、黒地に日の丸と並んで使用されました。